

取扱説明書

GT GAUGE-80

回転信号タイプ

この度はPIVOT製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書はよくお読みいただき大切に保管してください。

- 製品を他の人へお譲りする場合は、必ず取扱説明書（本書）をお付けください。



タコメーター

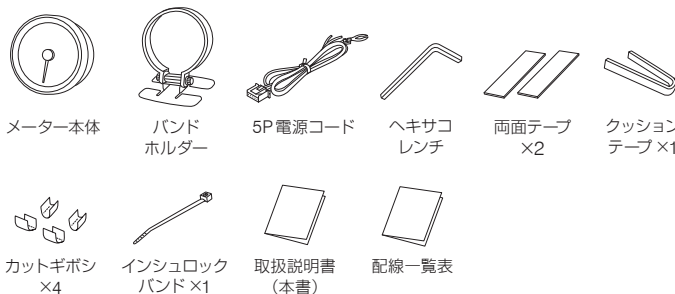
GST-8 / GST-8G

ホワイト照明 グリーン照明

目次

セット内容・警告・注意	1
特長	1
各部の名称と表示範囲	2
配線接続方法	2
各種設定	3
製品の固定	4
基本動作	4
故障かな？と思ったら	4

内容物をご確認ください



警告 下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

- 換気の悪い場所で作業しない
排気ガス中毒や引火等で人体への危険があります。
- コードの被ふくを傷付けない
ショート・接触不良等による火災、通信不具合による電装部品・エンジン・車輻破損の危険があります。
- 運転中に操作をしない
運転中の製品操作や表示確認は事故の原因となりますので、安全に十分配慮してご使用ください。
- 製品固定や配線処理は確実に
製品固定や配線処理は、運転の支障や接触不良とならない状態にしてください。

注意 下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性と、製品その他に物質的損害が発生する可能性があります。

- DC12V車で使用する
本製品はDC12V車用です。それ以外の電圧のクルマには装着できません。
- 装着直後は製品に強い力を加えない
両面テープで製品を固定した直後は、はげやすくなっています。ご注意ください。
- 高温となる場所や水のかかる場所には装着しない
故障の原因となります。
- 薬品類は使用しない
ゴミ・汚れが付着した場合、やわらかい布などで丁寧にふき取ってください。
アルコール・シンナー・ベンジンなどの薬品類は使用しないでください。
- ネジ・部品は元の状態に戻す ●まぶしく感じる場所には装着しない
- 加工・分解および改造をしない

特長

比類なき！ 広角スケールという表示性能。

見やすさを追求した広角スケール

表示は広角の320°を採用し目盛りが広くなり、読み取り性能が向上しました。

薄型で軽量

メーター部は薄型で重量98gという軽量で、車体振動やGによるブレが少なく走行中でも見やすい表示です。

11000回転表示

回転表示は広角スケールにより11000rpmまで刻まれ、高回転から低回転エンジンまで幅広い車種に対応できます。

幅広い車種に対応

回転信号はイグニッションコイルやECUなどから検出できるため、新型車から旧車やレーシングカーなど幅広い車種に対応できます。

対応エンジン

12Vで1～8気筒のガソリン車（一部のディーゼル車）に設定切り換えで対応可能。

簡単装着のワンボディ

別ユニット不要でメーター部のみ簡単に装着できます。

オートピーク表示

エンジン始動時からのピーク値をエンジン停止時に表示。

高精度ステッピングモーター

コイル式のように指針のオーバーシュートがなくレスポンスのいい動作。

新オープニング

メーターの動作開始時に0点検出するオープニングは一回だけのスムーズ動作を採用。

バンドホルダー付属

様々な場所にメーターを設置しやすいバンドホルダーを付属。

各部の名称と表示範囲

正面

表示部
エンジン回転数を表示

針
現在の数値やピーク値を表示

イルミ
表示中は常時点灯
GST-8 : ホワイト照明 (文字・針)
GST-8G : グリーン照明 (文字・針)

表示: 0~11000 rpm

背面

5P コネクター
5P 電源コードを接続

サイズ
[単位: mm]

配線接続方法

基本配線

※1 故障の原因となるため、別の品番の5Pコネクターを接続しないようにご注意ください。

■ = カットギボシ

安全のため、配線作業時はバッテリーの-端子を外してください。

常時電源

赤 常時+12Vの場所へ付属のカットギボシを使用し、接続する。(IGN・ACC不可)

IGN

黄 キースイッチ ON で+12Vの場所へ付属のカットギボシを使用し、接続する。(常時・ACC不可)

アース

黒 アースが取れる金属部のネジに固定する。プラスチック部や塗装したネジではアースが取れませんので、確実にアースの取れる場所で固定してください。

エンジン回転信号

白 別紙「配線一覧表」で位置を確認し、付属のカットギボシを使用して接続する。接続は車輛側コードの指示された場所に行ってください。

気筒数設定

緑 3ページ「気筒数設定」に従い気筒数の設定を行う。緑コードは設定完了後に絶縁処理をする。

カットギボシの使い方

- 1** クルマ側のコードの被ふくを剥く (10mm)
- 2** 製品側のコードの被ふくを剥く (10mm)
- 3** 芯線を絡める
- 4** 芯線が抜けないように圧着ベンチでかしめる (カットギボシ)
- 5** 絶縁テープを3周程度巻き確実に絶縁する

ECUの回転信号に他の機種が接続されている場合

- 両方接続しても正常に動作する
 - ▶ そのまま使用可能。
- 動作しない、または不安定な動作をする
 - ▶ ECUの配線への接続をやめ、イグニッションコイル、またはダイアグノシスへの接続に切り換える。(下記参照)

回転信号をエンジンコンピューター以外からとる場合

● **ダイアグノシス (チェックコネクター) からとる場合**

例: ロードスター (NA6C) の場合

回転信号の位置 (IG-)

● **イグニッションコイルからとる場合**

イグニッションコイル

● **ダイレクトイグニッションコイルの点火信号からとる場合**

ダイレクトイグニッションコイル
点火信号

上記の接続をして回転数表示が極端に少ない場合

例: 6気筒車で純正タコメーターが3000rpmの時に500rpmを表示する。
原因: 取り付けたクルマが独立点火式のため。

気筒設定数を "1" にします。⇒3ページ **設定A 気筒数設定**

● = カットギボシ
※ 気筒数設定を "1" にします。
※ 点火信号の配線位置は車種によって異なります。


各種設定

準備

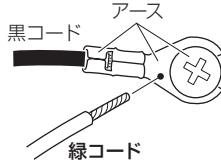
取り付ける車の気筒数、サイクル数をご確認ください。

設定 A 気筒数設定

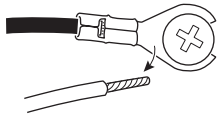
クルマごとの気筒数を設定します。気筒数は針の位置で設定します。
(出荷時は4気筒に設定されています)

- 1  エンジンは始動しないで
キースイッチ ON ▶ 針がオープニング動作後に
0を指す

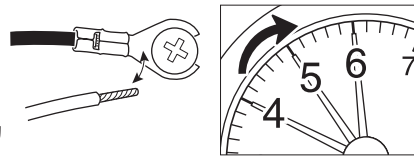
- 2 緑コードの先端の被ふくをむき
芯線を車輛のアースへ4秒間当てる
※アース用ネジは金属に固定されたネジで、
プラスチックへの固定ネジや塗装ネジでは
通電しません。



- 3 針が現在の設定値を指したら
芯線をアースから離す



- 4 設定する気筒数の
針位置まで緑コードの
芯線をアースに接
触させ離す
針は4→5→6→8…と移動



気筒数	針	車種
1	1	日産車 (フェアレディ Z Z33)・マツダ車 (アテンザ等) ※
2	2	マツダ車 (RX-8)・スバル車 (プレオ初期型等) ※
※ 1気筒、2気筒設定の場合、 設定B 信号レベル切り換え で 信号検出レベルを 2 に設定してください。		
3	3	3気筒車
4	4	4気筒車・ロータリー車 (RX-7)
5	5	5気筒車
6	6	6気筒車
8	8	8気筒車
特A	9	日産マーチ/キューブ等の一部車種

⚠ 2サイクル車の場合は、気筒数を2倍にて設定してください。
(例：2サイクル3気筒車の場合⇒6気筒設定)

- 5 キースイッチ OFFで針が0へ移動し
イルミ消灯後に一目盛り右へ移動 ▶ 設定完了

※ 緑コードは設定完了後に絶縁処理をしてください。

設定 B 信号レベル切り換え


回転信号の検出レベルを切り換えます。

下記以外の車種は切り換えの必要はありません。

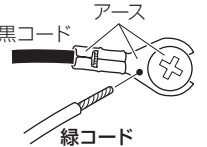
日産 (フェアレディ Z Z33)、マツダ (H14年以降の一部)、
三菱 (コルト他)、スバル (プレオ初期型等)

※詳細は、別紙「配線一覧表」をご覧ください。

配線
一覧表

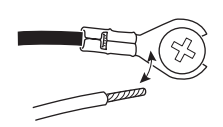
- 1  エンジンは始動
しないで
キースイッチ ON ▶ 針がオープニング
動作後に0を指す

- 2 緑コードの先端の被ふくを
むき芯線を車輛のアースへ
8秒間当てる

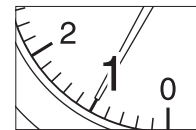


- 3 8秒後に針が0に戻り
現在の設定値を指す (1または2)

- 4 設定するレベルの針位置
まで緑コードの芯線を
アースに接触させ離す



1 = 一般の場合



2 = レベルが小さい場合



- 5 キースイッチ OFFで針が
0へ移動しイルミ消灯後に
一目盛り右へ移動 ▶ 設定完了

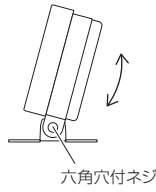
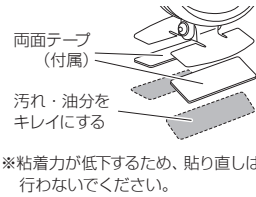
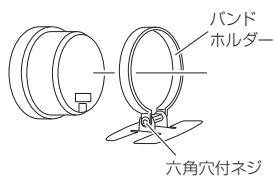
※ 緑コードは設定完了後に絶縁処理をしてください。

製品の固定

バンドホルダーを使用する場合

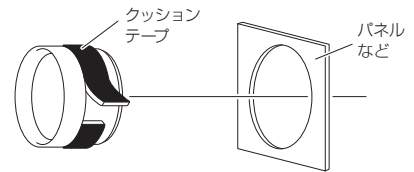
強度のある場所に両面テープを使用して固定します。(コラムカバー上、ダッシュボード上など)

- 1 ネジを少しゆるめ、メーターをバンドホルダーに装着する。
- 2 両面テープで固定する。(貼り付け部の油分や汚れは、キレイにする。)
- 3 見やすい角度に合わせ、ネジを固定する。



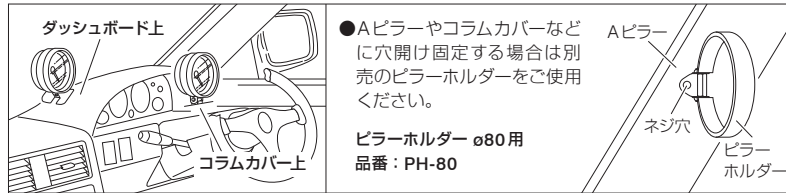
パネルなどに埋め込む場合

- 1 メーターの根元にクッションテープを巻く。
- 2 直径80mmの穴に圧入状態で差し込む。



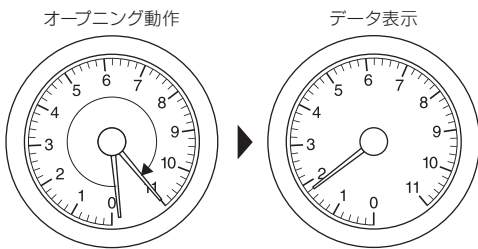
様々な場所に取付可能

両面テープで様々な場所に取り付けられ、取り付け後の角度調整も可能です。



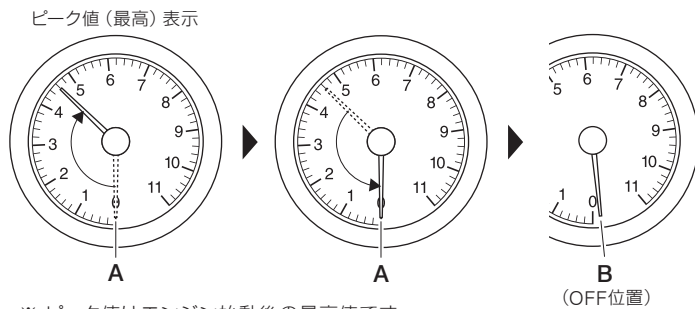
基本動作

エンジン始動 ▶ 針がオープニング動作後にデータ表示。



※ コネクター装着後またはバッテリー交換後は、初回のみオープニング動作が長くなります。

エンジン停止 ▶ 針がAの位置からピーク値を数秒間表示。ピーク値表示後、針がAの位置へ移動し、イルミ消灯後にB (OFF位置) へ移動。



※ ピーク値はエンジン始動後の最高値です。
※ OFF位置後に再始動するとピーク値はリセットされます。

故障かな?と思ったら

症状	原因	対策
メーターが動かない。	5Pコネクター (赤) (黄) (黒) コードの接続不良。	再度ご確認ください。
	別の品番の5Pコネクターを接続している。	「配線接続方法」をご確認ください。
オープニング動作はするが表示しない。	白 コードの接続不良。	再度ご確認ください。
	信号検出レベルがあっていない。	「信号レベル切り換え」と配線一覧表をご参照の上、確実に設定してください。
表示が車輛メーターなどよりもズれる。	気筒数設定があっていない。	「気筒数設定」をご参照の上、確実に設定してください。
	信号検出レベルがあっていない。	「信号レベル切り換え」と配線一覧表をご参照の上、確実に設定してください。
各種設定ができない。	(赤) (黄) コードの配線間違い。	必ず (赤) コードは常時電源、(黄) コードはIGN電源へ接続してください。
オートピークが表示されない。		
パワーウィンドウのオート機能や各電子機器がリセットされる。	バッテリーのマイナス端子を外したことによる。	バッテリーのマイナス端子を戻し、車輛の説明書に従って再設定してください。

※ 弊社製品には工業所有権出願中、または取得済みが含まれております。
※ 意匠、制御特性、回路、回路配置などの類似品には、近年不正競争防止法等の法的処置が厳しく適用される事例があります。
※ PIVOT マーク無断使用や説明書の無断転載は固くお断りします。